



KYOTO STEAM-世界文化交流祭-2020
 KYOTO STEAM-International Arts x Science Festival-2020

森を知らずに育ったチンパンジーと森から離れたヒトが
 類人猿の故郷としての森で出会い戯れる、
 アート×サイエンスが挑戦する
 チンパンジーとヒトの
 新たなコミュニケーション!

アートで感じる? チンパンジーの 気持ち



人民 周月 (Eternity) 2017年 / チンパンジーアート x サイエンス / 豊後美術館 (中国)

2020
 3.21 (Sat)
 → 3.29 (Sun)

会場：京都市動物園 類人猿舎 屋内展示場 3

開場時間：10:00-11:00 / 14:00-15:00 *3月23日(月)は休園 *混雑状況によっては、入場を制限する場合があります。
 料金：無料(入園料は別途必要)

Venue: Ape House Indoor Exhibition Room 3, Kyoto City Zoo
 Hours: 10:00-11:00 / 14:00-15:00 *Closed on March 23(Mon) *Entrance may be limited when crowded.
 Ticket and Price: Free (Admission fee to the zoo in applies.)

機材提供：パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

協力：京都大学高等研究院 / 京都大学野生動物研究センター

主催：KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会



KYOTO STEAM
 - 世界文化交流祭 -

遺伝的・進化的にヒトに最も近い動物であるチンパンジーはヒトと同じようにアートを楽しむことができるのでしょうか。この問いに向かって2018年にスタートした本プログラムでは今回、チンパンジーが暮らす京都市動物園の類人猿舎内にチンパンジーと来園者が双方向に操作可能な映像作品を展示し、実験を行います。

作品を手がけるアーティストは、人の動きにより変化する映像を用いたインスタレーション作品を発表してきた美術家の人長果月。花や蝶などの生き物の美しい姿をモチーフとして扱いつつ、見る者のアクションによって変容する作品は、美しさに潜む生命の多様なイメージを垣間見せてきました。本プロジェクトでは、サイエンティストとの協働により「類人猿の故郷としての森」の中でチンパンジーとヒトが出会い、戯れる空間を作り出します。

アーティストと協働しながら研究を行うのは、飼育動物が快適に過ごせる環境を提供することを目的に霊長類のストレスや行動発達の研究を行う山梨裕美をはじめ、センサー技術を活用して類人猿の認知と感情を研究する狩野文浩ら、様々な専門性を持つ研究者たち。観察とセンサーから得られたチンパンジーの行動と、アンケートとアイ・トラッキングによるヒトの行動を検証し、アートがチンパンジーやヒトに与える影響を考えます。

アートとサイエンス、チンパンジーとヒト。それぞれの境界を越えながら、これまでにないチンパンジーとヒトのコミュニケーションに挑戦し、「ヒトにとってアートとは何か」という根源的な問いに迫ります。

Can chimpanzees, the closest animals to humans in terms of genetics and evolution, enjoy art the same way human beings do? This program, launched in 2018 to address this question, will conduct an experiment at the Ape House chimpanzee enclosure in the Kyoto City Zoo, displaying a video artwork operable by both chimpanzees and zoo visitors.

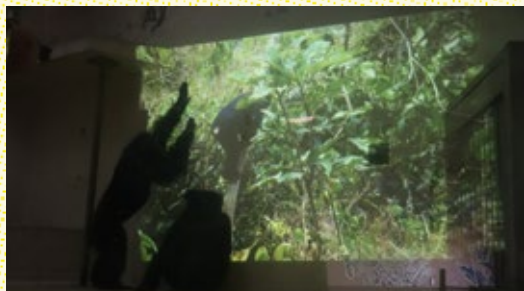
The artwork will be created by HITOOSA Kazuki, an artist who has created a number of installations using video which changes in accordance with motion. Using the beauty of flowers, butterflies and other living things as a motif, these artworks are transformed by the actions of the viewer, offering a glimpse of the diverse images of life latent within beauty. In this project, the artist will collaborate with scientists to create a space within the "forest as the home of the apes" where chimpanzees and humans can encounter one another and play.

The researchers collaborating with the artist will include YAMANASHI Yumi, whose research focuses on stress and behavior development in primates, in order to provide an environment where zoo animals can live in comfort, and KANO Fumihiro, who studies cognition and emotion in apes with the use of sensor technology, among others with various specialties. They will consider the effects of art on humans and chimpanzees through examination of the behavior of chimpanzees via observation and sensors and that of humans through questionnaires and eye tracking.

Art and science, chimpanzees and human beings. Moving beyond these boundaries, this project takes on the challenge of communication between chimpanzees and humans, and approaches the fundamental question of what art means to human beings.



←アイ・トラッキングによる実験の様子(2019年)



←チンパンジーに初めてプロジェクションによる映像を見せた時の様子(2019年)



←京都市動物園類人猿舎屋内展示場への作品展示イメージ

機材提供：パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社
【プロジェクター】PT-MW730J・PT-MW530J 【ズームレンズ】ET-ELW20

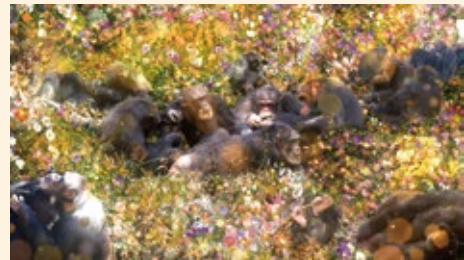
出展作家

人長 果月

HITOOSA Kazuki | 美術家

1975年、京都府生まれ。京都市立芸術大学大学院造形構想修了。個展での作品発表とともに「Art Meets Winter」(2018年/京都新聞社ビル・タイム堂/京都)、「再生の庭」(2017年/藝倉美術館/中国)、「消滅の夢」(2016年/ベラルクス州立大学美術造形研究所ギャラリーフェルナンド/メキシコ)、「神戸ビエンナーレ2015入賞作家招待作品展」(2015年/東遊園地/神戸)等、国内外のグループ展に出品。2015年、京都市芸術新人賞受賞、「琳派400年記念新鋭選抜展〜琳派の伝統から、RIMPAの創造へ〜」最優秀賞受賞。

上：《Voyant-Chimpanzee》2018年/デジタルアニメーション/KYOTO STEAM-世界文化交流祭-プロlogue(京都)/素材提供 山梨裕美(京都市動物園)
下：《Etoile》2011年/インタラクティブインスタレーション/神戸ビエンナーレ高架下プロジェクト(兵庫)



研究者

山梨 裕美 YAMANASHI Yumi

京都市動物園 主席研究員

狩野 文浩 KANO Fumihiro

熊本サンクチュアリ・京都大学高等研究院特准教授

吉田 信明 YOSHIDA Nobuaki

公益財団法人京都高度技術研究所主任研究員

アートコーディネーター

山本 恵子 YAMAMOTO Keiko

KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会
アートコーディネーター

一方井 祐子 IKKATAI Yuko

東京大学国際高等研究所
カブリ数物連携宇宙研究機構特任研究員

岩城 覚久 IWAKI Akihisa

近畿大学文学部文化デザイン学科准教授

チーフディレクター

坂本 英房 SAKAMOTO Hidefusa

京都市動物園副園長 / KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会チーフディレクター

トークセッション

プロジェクトの舞台裏から実験でのチンパンジーとヒトの反応まで、本プログラムの作品制作や研究に参加しているアーティストと研究者等がお話します。

日時	2020年3月28日(土) 15:30~17:00	定員	80名
会場	京都市動物園 レクチャールーム	料金	無料(入園料は別途必要)

申込方法 名前(ふりがな)・電話番号・同伴者の有無及び人数を添えて、KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会までお電話またはメールにてお申込みください。
※申込み開始は1月9日(木)から。定員に達し次第申込み終了。一部当日受付あり。



アクセス 〒606-8333 京都市左京区岡崎法勝寺町 岡崎公園内 TEL:075-771-0210

- 地下鉄東西線「蹴上」駅1番出口より徒歩約7分、「東山」駅1番出口より徒歩約10分
- 京都岡崎ループ「動物園正門前」下車すぐ
- 市バス「岡崎公園 動物園前」より徒歩約2分、「岡崎公園 美術館・平安神宮前」より徒歩約5分
「東山二条・岡崎公園口」より徒歩約10分

※動物園に専用駐車場はありません。岡崎公園駐車場・みやこめっせの駐車場をご利用ください。

KYOTO STEAM-世界文化交流祭-とは

「KYOTO STEAM-世界文化交流祭-」は、「KYOTO CULTIVATES PROJECT」の理念(京都は耕す、育む、磨く)を体現し、京都賞が先駆的に示してきた人類の未来への願いとも共鳴した、アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに開催する新しい文化・芸術の祭典です。京都岡崎を中心に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会前の2020年3月に第1回目となるフェスティバルを開催します。

※STEAMとは…Science(科学)・Technology(技術)・Engineering(工学)・Arts(芸術)・Mathematics(数学)

参加団体：京都市 / 京都市立芸術大学 / 京都市京セラ美術館 / 京都市動物園 / (公財)京都市芸術文化協会 / (公財)京都市音楽芸術文化振興財団 / (公財)京都高度技術研究所 / 京都商工会議所 / 京都経済同友会 / 日本放送協会京都放送局 / 京都新聞社 / 京都岡崎 蔦屋書店

お申込・お問合せ先

KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会
Executive Committee of KYOTO STEAM-International Arts x Science Festival-

〒606-8536

京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1(京都市国際交流会館内)

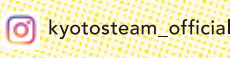
京都市文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課

TEL:075-752-2212 FAX:075-752-2233

MAIL:info@kyoto-steam.org

平日(月~金)8:45~17:30

※祝日/年末年始(12月29日~1月3日)を除く



公式WEB